

～ABCグループCSR「阪神淡路大震災アーカイブ企画」～

阪神淡路大震災から27年—映像で語り継ぐ大震災の“教訓”

『阪神淡路大震災 激震の記録』全8本を無料配信

動画配信サービス「アジアンドキュメンタリーズ」特集コーナーで1月14日配信開始

朝日放送グループホールディングス株式会社(本社:大阪市福島区、代表取締役社長:沖中 進)は、グループCSR活動の一環として、阪神淡路大震災の発生から25年を経た2020年1月より、防災・減災のために広く活用していただけるよう、当グループが保有する震災映像を多様な方法で公開しています。

この度、動画配信サービス「アジアンドキュメンタリーズ」(URL: <https://asiandocs.co.jp/>)特集コーナーで、震災が発生した1995年に放送された報道特別番組「激震の記録」の再編集版全8本と、今回新たに制作された解説動画の無料配信を開始しました。(視聴には会員登録が必要です。)

今後も、防災情報の未来への伝承と、より多様で有効な社会共有の方法を考え、当公開プロジェクトを進めて参ります。

『阪神淡路大震災 激震の記録』ラインナップ

<https://asiandocs.co.jp/set/560>

1. 大都会が崩れた(42分41秒)
 2. 廃墟と化した街1(41分54秒)
 3. 廃墟と化した街2(40分32秒)
 4. 生死を分けた日(33分50秒)
 5. 避難所で生きた(34分43秒)
 6. 淡路島(43分07秒)
 7. あの場所は(42分35秒)
 8. そして復興(43分08秒)
- ・「激震の記録 2020年版」解説動画(11分01秒)



今回配信するドキュメンタリーには、ナレーションもコメントフォローの字幕もありません。編集は最小限にとどめ、カメラが記録した被災地の映像、声、音を、ありのまま届けます。過酷な状況の中でも取材を許してくれた被災者の姿や声は、後世へ受け継ぐべき重要なメッセージでもあります。弊社は、2年前に「阪神淡路大震災アーカイブHP」(https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/)を開設しおよそ38時間の取材映像群を公開しましたが、それらを断片的に見ただけではわからない「大震災のリアル」をこのドキュメンタリーによって「体感」することができ、あらためてそれぞれが防災・減災を真剣に考える大きな機会と考え無料配信をいたします。(2022年3月31日まで)

朝日放送グループのCSRについて <https://corp.asahi.co.jp/ja/csr/index.html>

朝日放送グループでは、今年度、近年の大規模自然災害の頻発を受け、自然災害や防災・減災情報につながる情報発信と取り組みを行っています。